

インターネットなど、急速に情報技術が発展する現代において、小学生から正しい情報を取捨選択し、吟味し、活用する力が重要となつています。

福島町では、小中学校でタブレット型端末やテレビモニターを活用したICT教育を積極的に取り組んでおります。令和2年度に導入した「eラーイブラリ」は、授業での活用と家庭への持ち帰り、朝学習ドリルなど、いろいろな場面で活用されております。

令和3年度においても、国庫補助事業を活用したGIGAスクールサポーターを1名配置し、各学校におけるICT教育のコーディネーターとして活用してまいります。

さらに、教職員への研修機会を設け、ICT教育技術の向上に努めてまいります。

#### (4) 基本的な生活習慣の定着及びメディア・朝ごはんの啓発

令和2年度において「早寝・早起き・朝ごはん」と「メディアルールを考えよう」というパンフレットを保護者に配布し、啓発を行ってきたところです。

子どもたちの健やかな成長には、「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」ことが必要不可欠です。基本的な生活習慣をしっかりと整え、学習や運動の力の源となる「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進してまいります。

また、インターネットやゲームを長時間行うことで、目の病気や依存症、個人情報流出など、さまざまな弊害が懸念されています。

当町では、インターネットやゲームについて、親子で話し合い、ルールを決めて利用する「メディアルール」の取り組みを推奨しております。

インターネットモラル教育を各学校で実施し、PTA研究大会などでも啓発するなど、基本的な生活習慣向上の取り組みをさらに推進してまいります。

#### (5) 学校環境の整備

令和2年度に良好な教育環境を長期間にわたって維持していくよう「福島町教育施設等長寿命化計画」を策定しました。

学校で児童生徒が安全に過ごすことができるよう、本計画に沿って施設の維持管理を行ってまいります。

吉岡小学校については、令和2年度において児童数は12名でしたが、令和3年度は9名となる見込みです。

令和3年度においては、吉岡小学校の在り方について、学校、保護者及び地域の方々と協議し、今後の方向性を見出してまいります。

教員住宅については、住環境向上のため白符地区の1棟4戸の浄化槽設置工事を実施いたします。

#### (6) 全国中学校相撲選手権大会への準備

令和4年度に当町において開催予定の「全国中学校相撲選手権大会」に向けて、鋭意準備を進めているところです。令和3年6月には準備委員会から実行委員会に組織改編し、作業を本格化してまいります。

大会の開催にあたり、多くの役員及び生徒の協力が必要となり、また、宿泊場所等も必要となりますので、近隣町の各関係機関に協力を要請してまいります。

また、8月に東京都立川市で開催される全国大会に、実行委員会的主査委員を派遣し、大会の運営方法などを視察してまいります。

#### (7) 学校給食

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、正しい食への知識を習得し、生涯にわたって健康の維持増進に努める能力を養う学校教育の柱であります。

令和3年度は、地元食材、特に福島県産米の使用割合を高めるため、80kg保管できる精米保冷庫を購入し、年間を通じて安定して学校給食に提供できるよう取り組んでまいります。

さらに、安全・安心で豊かな学校給食の提供に努めるとともに、望ましい食習慣を身に付ける食育の推進を、引き続き図ってまいります。

#### 4 生涯学習について (1) 青少年教育

令和2年度は、コロナ禍の影響で多くの事業を中止する一方、開催できる事業は感染予防に最大限配慮し実施してまいりました。令和3年度においても引き続き感染予防に最大限配慮し、なるべく多くの事業を実施してまいりたいと考えております。

令和3年2月に実施した「福島学ジュニア・チョコお菓子作り」は、スマホアプリのLINEや教育委員会ホームページを活用し、お菓子の作り方の動画を配信しました。参加者はそれぞれの家庭で動画を見ながら製作し、出来上がった作品の写真を撮影して返信するという手法を取り入れました。

参加者が一堂に集合するのではなく、各家庭に居ながらにして生涯学習活動に取り組む、新たな事業実施方法であると考えております。

令和3年度においても各事業について、最善の実施方法を検討してまいります。

主に小学生が、様々な体験学習を通して郷土の魅力を再発見する「福島学ジュニア」、リーダーシップや表現力を育成する「青少年の主張大会」の実施に取り組んでいます。

また、情操教育の一環としては、児童・生徒向けの芸術鑑賞会を近隣町等と連携を図りながら開催いたします。

過疎地域の子どもたちだからこそ、都市部の子どもたちと同じようにICT教育を学ぶことが、これからの時代を生きる青少年に必要な取り組みであります。

令和元年度、2年度に企画課所管で実施していた「プログラミング教室」は、公立はこだて未来大学との連携事業であり、参加の児童、保護者から大変好評を得ている事業となっております。

令和3年度においては、教育委員会所管に移し、引き続き事業を実施してまいります。



プログラミング教室に参加する児童

令和3年度の友好町の児童生徒交流事業は、夏季に長野県木曽町から中学生が福島町へ、長崎県松浦市に福島町から小学生を派遣し、友好の絆を深める予定となっております。

#### (2) 成年教育

潤いのある生活と活力ある地域づくりのためには、町民が芸術文化に接する機会の充実や活動支援を通じて、豊かな